

業務時間：8：30～17：30

施設案内

休所日：毎週月曜日
(月曜日が祝日の場合、その翌日)

どんな施設なの？

社会教育の振興に資することを目的に設置された施設です。

何ができるの？

自然体験活動

団体宿泊訓練

スポーツ

各種研修

ワークショップ

野外プログラム

設備は？

キャンプ場

運動広場

天体観測デッキ

ハイキング・登山コース

浴室

食堂

研修室

宿泊室

体育館

講堂

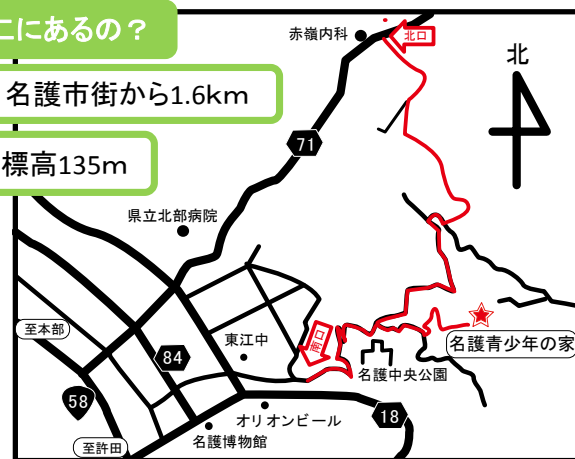
誰でも利用できるの？

2名以上の団体なら、家族でもサークルでも、企業や職場の仲間でも誰でも利用可能です。

どこにあるの？

名護市街から1.6km

標高135m



ご予約からご利用までの流れ

1. 利用希望日が決まったら、お電話ください。
「空き状況」を確認します(仮予約)。
2. 利用予定日の1ヶ月前までに、申請書※をご送付ください(本予約)。

3. 利用予定日の2週間前までに、スタッフと打ち合わせや施設の下見を行います。
4. ご利用日当日は、スタッフが適宜研修をサポートいたします。
※申請書は当施設HPよりダウンロードしてください。

◆ 宿泊・施設利用料金

種類	宿泊室	キャンプ場 (テント泊)	野外炊飯 (薪代)	研修・訓練室 ※団体あたり	体育館・講堂 ※団体あたり
児童・生徒	300円/人	150円/人	50円/人	150円/時間	350円/時間
学生・一般	600円/人	250円/人	50円/人	350円/時間	700円/時間

※学校等の教育課程に基づく教育活動で利用する場合、予め免除申請書を提出いただければ、高校生以下の児童・生徒の利用料金が免除されます(但し、食事代とシーツ代、薪代は別途必要となります)。

発行 2013年(平成25年) 10月6日(日)



沖縄県立
名護青少年の家
Okinawa Prefecture Nago Youth Center

名護市名護5511

TEL:0980-52-2076 FAX:0980-52-3082
http://www.opnyc.jp/

指定管理者

一般財団法人
沖縄美ら島財団
Okinawa Churashima Foundation



ブログ
も見てね!
QRコード



http://www.opnyc.jp/
スタッフブログ/

名護青少年の家 かわら版 10月号

宿泊室からの眺め
名護市街～本部半島

名護岳にてノグチゲラ目撃!

10月1日(火)の琉球新報・沖縄タイムス両紙に「9月28日(木)午前、名護岳にてノグチゲラを確認」という記事が載っていました。詳しく記事を読んでもみると、今回目撃されたのは雄で、名護岳での目撃例は実に4年1ヶ月ぶりだとか。

今年の8月頃から渡久地豊氏(屋我地鳥獣保護区管理員)の元に情報が寄せられていたそうです。当所へもドラミング音が聞こえたら情報提供して欲しいと、早速相談にいらっしやいました。「ハイキングや登山の際に木をつつく音(ドラミング)が聞こえたり、ノグチゲラ自体を見ることがあるかも知れませんね」と渡久地氏。ハイキングや登山の時に、実際に見れるといいですね!

目撃あるいはドラミングを確認した方は名護博物館(0980-53-1342)までご連絡をお願いします。



名護岳に咲く花々

ヤンバルセンニンソウ(山原仙人掌) Vol. 6
キンポウゲ科 センニンソウ属

学名: <Clematis meyeniana>



施設内のフェンス沿いにて(10月1日撮影)

陽当たりの良い山地に生える常緑の藤本(=木本のツル植物)で、長さ3~5mになります。葉は1回3出複葉で、小葉は卵形~長卵形、長さ5~12cm。薄い革質で、先は鋭く全縁で、表面はやや光沢があります。花は白色で3~10月頃にみられ、円錐状の集散花序を出し、花弁は白色で4個、径2~2.5cm。

屋久島・種子島~沖縄、中国南部、台湾、フィリピン等に分布します。

名前の由来は、果実には白い毛があり、これを仙人のヒゲに見立てたことから。

専門職員 宮城 徹



事業報告

自主事業 親子ふれあいキャンプⅢ 「名護岳お月見キャンプ」

沖縄美ら島財団の自主事業、親子ふれあいキャンプⅢ「お月見キャンプ」を9月21、22日開催しました。県内のご家族8組約30名の皆さんが、親子のふれあいを楽しみながら、お月見などで自然に親しんだり、自然環境の大切さを学ぶなどしました。

1泊2日の今回のキャンプは野外活動が主で、時折小雨がぱらつくこともありましたが、各アクティビティが行われるときには太陽が顔をだし、天候に恵まれました。

開講式のあと最初に行ったのは、各自宿泊するテントの設営。家族で力を合わせてたてたドーム型テントが、芝生のキャンプサイトにズバリと並びました。



家族で協力してテント設営

その後は野外炊飯へと移り、「火起こし」から始めました。火は簡単につけることはできず、参加者の皆さんは汗だくなりながら根気よく取り組みました。そして、火が起これと、「やったー!」と歓声をあげ、喜びを分かち合っていました。懸命に起こした火はマキに移され、夕食のダッチオープン料理や、お月見団子作りなどに使われました。



火起こしに挑戦

母親の雅子さんは「親子で楽しめる内容で、とても良かったです。息子が積極的にお友達と行動したり、お箸を根気よく作り上げる姿を見られたのもうれしかったです」と笑顔で話してくれました。



マイ箸作り

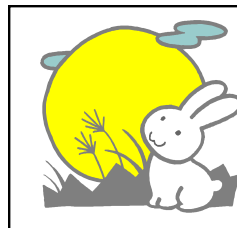


事業に参加していただいた皆さん

〈担当・宮里大悟専門職員から〉

今回は皆さんに、火起こしを体験していただいたかったので、長い時間をとって、できるところまで頑張ってくださいました。実際体験されてみて意外に難しかったと思いますが、今後マスターしていただけると嬉しいです。今回で終わらずに、どんどん自然の中に入って行って、さまざまな野外活動を楽しんでいただきたいと思います。

[文：ボランティアスタッフ まえかわあやこ(ライター)]



● 事業案内 ●

自主事業

ネイチャーフォト教室

あのスミソニアン博物館に写真が
展示されている加藤氏が講師!

日時：平成25年11月23日(土) 10時 ～ 15時

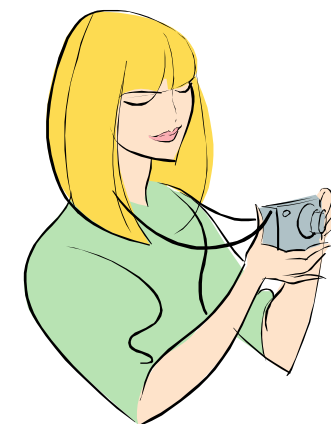
場所：沖縄県立名護青少年の家

参加費：3,000円/人 (昼食込み)

定員：25名

講師：加藤 ^{かとう} 文雄 ^{ふみお} 氏

受付：10月22日(火) ～予定



講師紹介

加藤文雄氏(NATURE'S BEST PHOTOGRAPHY JAPAN 2012! 準グランプリ)

講師プロフィール

愛媛県出身、瀬戸内海を目の前に幼少期を過ごす。
1989年スキューバダイビングと同時に水中写真を始める。隔年で2度の高砂淳二賞を受賞を機に本格的に写真に取り組む。大手通信社勤務の傍ら、2004年、人工尾びれプロジェクトにスチールカメラマンとして参加。翌年、講談社より写真集を発刊。2006年よりフリーとなり活動を広げる。水中写真の他に、ネイチャーフォト全般を手がける。ネイチャーズベストフォトグラフィージャパン2013 準グランプリ、SW優秀賞受賞。現在大阪在住。日本写真家協会(JPS)会員



※ 現在「ネイチャーフォト教室」実施に向けて最終調整を行っております。今後費用、受け付け開始日時などの変更が出てくる場合がございます。調整が済み次第当施設のホームページ、新聞などにて募集を呼びかけていく予定です。興味のある方は名護青少年の家までお問い合わせ下さい。